

ドローンで水稻作業軽減

## カメムシの一齐防除で品質向上めざす

～2020年8月13日(木)

7月30日から8月13日にかけて計8日間にわたり、上田上地区の生産組合のほ場を中心に、カメムシ防除面積145ヘクタールのうち102ヘクタールをドローン2機を用いて空中から防除しました。

カメムシ類の吸汁跡による斑点米は、検査等級を落とす大きな要因となります。カメムシへの対策は、出穂3



週間前と出穂期の2回畦畔の草刈り

を行うことによってカメムシの密度を低く抑えることと、共同防除による広域での出穂期以降の薬剤防除が効果的です。

当JAは、「米の品質向上につなげ、生産者の農作業軽減の手伝いができるよう、今後もドローンを活用していきたい」と考えています。

ドローンでカメムシ防除を実施しました。